

2012年

高知オフシアター・ベストテン上映会

一昨年まで、シネコンでは「午前十時の映画祭」として映画史に名をとどめる錚錚たる作品を上映し、中高年には往年の名作を再見する機会を、若い人には名前でしか知らなかった作品を初めて観る機会を与えてくれました。それは、シネコンならではの功績と言える好企画でした。

しかし、現在の映画興行のあり方を見ていると、映画はあたかも投機の対象であるかのように、一定期間に集中的に利益を上げられる作品ばかりが優先されて、他の作品は添え物のように扱われています。稼げる作品は鳴り物入りで宣伝され、3D上映も含め複数のスクリーンを長期間占領し、そうでない映画はいつの間にか始まり、短期間でスクリーンから去っていきます。

自主上映は、言わばそうした状況に対する意義申し立ての意味を持ち、実質的には、自分たちの観たい映画を自分たちの手で数多く幅広く観るための活動と言えます。現在の映画館における、CGで何でも有りの世界が簡単に作られてしまい、3Dでハイライト・シーンばかりが強調された映画の氾濫を見ていると、20年後30年後に「午前十時の映画祭」のようなプログラムを組める作品がどれだけ残るか疑問に思います。

良い読者が本を育てると言われるように、落語に聞き上手があるように、映画も見上手の観客がしっかり育って、いい映画を息長く支持していかないと、将来の世代に現代が「映画が貧困だった時代」と呼ばれかねません。今回上映する2012年のオフシアター・ベストワン作品と高知未公開の一本は、日頃見慣れている映画のイメージとは異なる作品かもしれません。しかし、このような作品との出会いを通して、映画の多様性、裾野の広さを感じていただき、ご自身の映画に対する感性にふるいをかけていただけたら、主催者として法外の喜びです。

高知オフシアター・ベストテン上映会実行委員会

代表 吉川修一

7月5日[金] 10:00開場

- 10:30~13:10 「この空の花 長岡花火物語」
~休憩~
- 14:00~16:12 「CUT」
- 16:30~18:33 「別離」
- 18:50~21:30 「この空の花 長岡花火物語」

7月6日[土] 10:00開場

- 10:30~12:33 「別離」
~休憩~
- 13:20~15:32 「CUT」
- 15:50~18:30 「この空の花 長岡花火物語」

前売600円/当日800円(一作品券、入替制)

※複数の映画をご覧になる場合は、複数枚のチケットをご購入下さい ※シニア、障害者、高校・大学生も同一料金です

前売券販売所: 高新プレイガイド・美術館ミュージアムショップ・かるぽーとミュージアムショップ・高知大丸プレイガイド・富士書房

高知県未公開特選作品

『この空の花 長岡花火物語』

「転校生」「その日の前に」などの大林宣彦監督が、新潟県長岡市を舞台に描く人間ドラマ。長岡を訪れた地方紙記者の女性が体験する不思議な出来事を通し、甚大な戦禍や災害を乗り越えてきた長岡市の歴史を浮き上がらせ、東日本大震災の復興への願いと希望をファンタスティックかつハートウォーミングに謳い上げている。大林監督の集大成とも言える、圧倒的な映像で魅せる。松雪泰子、高嶋政宏、富司純子等出演者も多彩。

洋画第1位

『別離』

イラン人夫婦に訪れる危機を軸に、人間の複雑な心理と共に社会問題をも浮き彫りにし、ベルリン国際映画祭金熊賞を受賞した人間ドラマ。テヘランで暮らすシミンとナデルには、11歳になる娘がいた。妻シミンは娘の教育のために外国へ移住するつもりだったが、夫ナデルは老いた父のために残ると言う。ある日、ナデルが不在の間に父が意識を失う出来事があり、介護人のラジェーを追い出してしまう…。イランの鬼才アスガー・ファルハディ監督、アカデミー外国語映画賞受賞。

邦画第1位

『CUT』

カンヌやヴェネチアなどの映画祭で高い評価を得ているイランを代表するアミール・ナデリ監督が、「さよならみどりちゃん」「セイジ 陸の魚」の西島秀俊を主演に迎えた異色作。売れない映画監督の弟を援助するため、借金トラブルで死んだ兄への自責の念から、借金返済のため殴られ屋を始める男の姿を描く。共演は、常盤貴子、菅田俊、でんでん、笹野高史など個性派ばかり。

洋画 ベスト テン



- ☆ 「別離」
- ☆ 「君を想って海をゆく」
- ☆ 「ラビット・ホール」
- ☆ 「未来を生きる君たちへ」
- ☆ 「ジェーン・エア」
- ☆ 「ウィンターズ・ボーン」
- ☆ 「ポエトリー アグネスの詩」
- ☆ 「少年と自転車」
- ☆ 「人生、ここにあり!」
- ☆ 「幻影師アイゼンハイム」
- ☆ 「灼熱の魂」

邦画 ベスト テン

- ☆ 「CUT」
- ☆ 「キツツキと雨」
- ☆ 「少年」
- ☆ 「一枚のハガキ」
- ☆ 「SRサイタマノラッパー ロードサイドの逃亡者」
- ☆ 「エンディングノート」
- ☆ 「正義派」
- ☆ 「銀河鉄道の夜」
- ☆ 「KOTOKO」
- ☆ 「もはやないもの」(「全力映画」の1話)

会場ロビーにて東日本大震災で被災した子供たちが瓦礫に描いた絵の展示を行っています。併せてご覧下さい。